

一級自動車工学科・自動車整備科 2026年度 授業計画

時期	1年D巡	単元	実習	教科名	1D_車両脱着	
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	自動車整備士三級（総合） 実習ノート		発行日	2026.4.1
総時限	24時限		教科 担当	石井		
総時間	38.4時間			古澤		
単位数	1					

1. 実務経験のある教員による授業科目 該当

自動車整備士として、シャシ系統全般の整備の実務経験がある教員によりシャシの着脱、分解、組立、点検等について指導する。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ①サスペンションの脱着作業を安全に実施出来る。
- ②ドライブシャフトのブーツ交換の脱着作業を安全に実施出来る。
- ③タイヤの脱着、バランス作業が正確に実施出来る。

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

- ①サスペンションの種類、特徴、構造、機能が理解出来るようになる。
- ②ストラット式サスペンションを車両から脱着し、スプリングの脱着が出来るようになる。
- ③トーションビーム式サスペンションのスプリングの脱着が出来るようになる。
- ④車両よりドライブシャフトを脱着し、ブーツ交換が出来るようになる。
- ⑥バーフィールド型ジョイント、トリポート型ジョイントを分解し構造、機能を理解する。
- ⑦タイヤの脱着、ホイールバランス調整作業が安全に実施出来るようになる。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

- 1) 履修試験での学習評価 筆記試験 100点にて評価する。
整備科、SPM科 60点以上で合格、工学科 70点以上で合格。
- 2) 出題試験項目
 - (1) 実技試験：①フロントストラットの脱着 ②バーフィールドジョイント分解組立
③タイヤ交換（タイヤチェンジャの取り扱い）
 - (2) 筆記試験：作業上の注意事項、サスペンション種類、ジョイントの種類

5. 準備学習

事前に次回の授業内容範囲を予習して、実習ノートを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。
実習ノートをもとにテキストを用い、自動車各部の構成装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめておく。

6. 学修時間と単位

本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。
1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間である。

